

## 平成26年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

知識基盤社会の到来やグローバル化の進展の中、生涯にわたり学習する基盤を培い、個性を生かしながら主体的に課題を解決出来る人間の育成をめざす。

- 急速に変化する社会に対応できる確かな学力を育成し、思考力・判断力・表現力を高める機会を与えることで、個性を生かす教育の充実を図る。
- 自ら将来の夢と志を描き、自己の可能性を伸ばすとともに、自らの力で進路を実現し、地域や社会に貢献できる人間の育成をめざす。
- 生徒が安全で安心して高校生活を送れるよう、それぞれの思いや環境・状況の違いを理解し、自他の生命や権利を大切にす意識の醸成に努める。

## 2 中期的目標

- 確かな学力の育成と思考力・判断力・表現力を高める機会の充実
  - 確かな学力育成のため、本校でこれまで培ってきた授業改善の取組みをさらに充実するとともに、「授業アンケート」を活用して授業改善を図る。また、生徒に思考力・判断力・表現力を高める機会を与えるため、授業内や学校内外において、課題発見・解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力等を身につけさせるための取組み、例えば、課題研究やプレゼンテーション、ディスカッション、ディベートなどの機会を設ける。  
⇒学校教育自己診断結果や授業アンケート結果の分析、授業振り返りシートの活用などにより、授業改善のPDCAサイクルを確立する。  
⇒校内での相互授業公開、研究授業、研修等により、課題発見・解決能力、コミュニケーション能力等の取組みの工夫について情報共有し、研究を行う。
  - 生涯にわたり学習する基盤を確立するとともに、「小・中・高・大」の連携した教育体制を整備する。  
⇒自習室など自学自習環境の整備を行うとともに、各教科・科目の授業において適切な自学自習課題を設定するなどにより、授業外学習を充実させる。  
⇒まず、枚方市の「小・中・高の一貫した英語教育」を踏まえて、枚方市立磯島小学校、枚方市立渚西中学校との連携を充実させるとともに、関西外国語大学との連携をさらに充実させ、小中高大の連携システムを構築する。また、他の教科における連携システムの研究も行う。
- 夢と志を描き、自らの力でそれを実現できる生徒の育成、社会人・職業人として自立・貢献できる人間の育成
  - 社会人・職業人として自立できるよう、基本的な生活習慣やマナーを身につけさせるため、遅刻指導、挨拶指導、服装・頭髪指導の一層の徹底を図る。  
⇒登校時遅刻と授業時遅刻をあわせた全生徒の年間遅刻回数が2000回を下回ることを当面の目標とする。  
⇒挨拶指導は登校時と授業時を中心に行う。服装・頭髪指導は、これまでの成果を継続し、さらなる徹底をめざす。
  - 積極性や協調性、責任感を高めるため、HRや委員会・生徒会、学校行事や部活動等などへの参加を一層奨励し、生徒の自主的活動を充実させる。  
⇒自主的・積極的に社会に参加する意識を醸成するため、自主的活動の意味や意義を生徒に考えさせ、自主的活動への参加を奨励する。
  - 上級学校や事業所、関係機関と連携して実際に“本物”や“最先端”に触れさせることにより、知識基盤社会・グローバル社会を実感させるとともに、その中で自分の個性を生かした将来の進路を考えさせ、各自の進路希望の実現を図る。  
⇒国や大阪府教育委員会、さらに他の関係機関の施策や、これまでのエリア活動等の連携による外部機関との本校独自の連携の充実を図る。  
⇒進展する国際化に対応する基礎的素養を身につけさせるため実用英語技能検定試験やTOEFL・TOEIC等の活用を図る。  
⇒これらの取組みの過程で新たな学校への移行を視野に入れ、生徒が自ら夢や志を描けるようキャリア教育を再構築する。  
⇒各自の進路希望が卒業時に実現できるよう、キャリア学習や進学講習に積極的に取り組ませる体制を充実させる。(3年後進路実現率85%とする)
- 安全で安心な学校づくりと自他を大切にす意識の醸成
  - 地域のニーズを踏まえ、交通ルール・マナー指導を推進するとともに、地域の文化活動や清掃活動などにもPTAや地域とともに取り組む。  
⇒関係機関等とも連携した交通ルール・マナー指導を推進し、交通事故の未然防止に努める。  
⇒地震や洪水に係る防災教育を推進するとともに、災害発生時に対応した飲料水等の備蓄を行う等磯島校区コミュニティ協議会との一層の連携を図る。
  - 自他を大切にす意識を醸成するため、人権教育を一層充実するとともに、生徒の実態を把握し、生徒一人ひとりの状況に適切に対応した指導を行う。  
⇒これまで行ってきた人権教育を踏まえて、インターネットや携帯電話などの新たな状況にも対応した高校3年間を通した人権教育を推進する。  
⇒いじめやセクハラなどについて、生徒アンケートや「高校生活支援カード」等により生徒の意識・実態を把握して、適切な指導・対応を行う。
  - 特別支援教育については、高等学校支援教育力充実事業のサポート校として、就労に向けたノウハウの提供や具体的な支援方策を助言していく。  
⇒自立支援コースを含む特別支援教育体制及びこれまでの事例に基づき、地域のサポート校としての取組みを充実させる。  
⇒特別支援教育の取組みや成果を基に、教育活動の様々な場面において「共に学び共に育つ」教育活動を推進する。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成26年12月実施分]	学校協議会からの意見
<p>&lt;生徒用アンケート結果&gt;回収率97.2% (H25 98.2%) ◎評価が高い項目(プラス評価が70%以上):6項目(H25 7項目) 「学校生活は充実している」(84.0%)、「この学校の生徒たちの関係はとてもよい」(76.5%)、「この学校にきて良かった」(78.5%)、「進路実現に関する指導は適切に行われている」(74.6%)、「学校行事やHR活動には皆が楽しく参加している」(70.8%)、「各教科から必要な量の課題や宿題が与えられている」(71.6%) ▼評価の低い項目(プラス評価が30%未満:1項目(H25と同じ項目)) 「授業以外での学習時間は1日平均1時間以上である」(26.7%) 【分析】20項目中13項目で肯定的な評価がアップした。特に、「いろいろと工夫がされている授業が多い」「楽しくて、わかりやすい授業が多い」「学校は授業以外でも学習する機会を提供している」「各教科から必要な量の課題や宿題が与えられている」「進路実現に関する指導は適切に行われている」「先生は悩みや相談ごとには丁寧に応じてくれる」「総合的な学習の時間の学習は充実している」の7項目について、「A:よくあてはまる」と回答した生徒の率は過去6年間で最高である。一方、「この学校には他の学校にない特色がある」「学校の施設・設備は充実している」の項目は5ポイント前後ダウンした。</p> <p>&lt;保護者用アンケート結果&gt;回収率45.8% (H25 48.1%) ◎評価が高い項目(プラス評価が70%以上): 「生徒たちは学校へ行くのを楽しみにしている」(82.3%)、「学校は特色ある教育活動に取り組んでいる」(83.1%)、「学校は進路実現の取組みをしっかりとやっている」(79.1%)、「学校は人権尊重の教育を積極的に行っている」(83.0%)、「学校は生活指導をしっかりとやっている」(76.5%)、「学校は教育情報について公開・提供の努力をしている」(81.8%)、「生徒たちは部活動や行事などの課外活動に積極的である」(70.4%)、「学校は家庭への連絡を適切に行っている」(83.8%)、「学校は保護者が授業や行事を参観できる機会を設けている」(89.9%)など ▼評価の低い項目:(プラス評価が30%未満: 「生徒たちは家庭学習に十分な時間を使っている」(23.7%) 【分析】17項目中13項目(H25は12項目)が70%を超えるプラス評価であり、学校生活や生徒指導、進路指導、開かれた学校づくりについては全般的に高い評価である。教員による授業の工夫・改善や部活動の活性化については、10ポイント程度評価が上がった。家庭学習の時間(▼2.9p)と進路実現の取組み(▼2.1p)、各教科からの課題・宿題(▼1.3p)については改善が必要である。</p>	<p>第1回(7/11)【昨年度及び今年度の取組み報告】 ・「コンパクトでアットホームな地域性を売りに小中高の連携を推進していきたい。」 ・「異なった校種の情報交換や連携の中で得られるものも多く、それらをベースにして校内的な取り組みを進めていきたい。」 ・「教員間の連携が取れているように思う。非常に多忙な状況下でいねいな指導を実践されていることが授業参観から見取れる。」 ・『『衛生的な学習環境を維持』するという保健部の取り組みは、生徒会の環境委員会の活動と連携して行っている。』 ・「先生方の思いが生徒に伝わっている。今後もよりよい環境の中で子どもたちが学校生活を送ることができるよう願っている。」 ・「AOで入学した生徒は6割近くがドロップアウトしているという最近の状況の中で、本日進路からは『一般入試』で合格する力をつけた生徒数が増加している。また、学校評価アンケートについては、本当の意味で生徒たちからAの評価を引き出せるよう授業改善を中心に積極的な取り組みを期待したい。」</p> <p>第2回(11/12)【授業の改善について(授業見学をもとに)】 ・「ESD(持続可能な開発のために教育)に関するユネスコ世界会議も開催されたが、枚方なぎさ高校はEMS宣言校としてさらに積極的に環境教育を進めていってもらいたい。」 ・「卒業後の自立支援コース生の進路支援対策として『障害者就業・生活支援センター』を活用してほしい。」 ・「授業改善に対して強い意欲を持っている教員の授業に対しては、学生の満足度が非常に高いという結果が出ている。本日の授業見学においても、常に授業を改善していく先生方の熱意と姿勢が、授業の改善につながっていると見える。今後は受動的な授業から発表やグループワークなどの能動的な授業への転換が一層重要になるであろう。」</p> <p>第3回(3月4日)【平成26年度学校評価アンケート結果、本年度総括、次年度方針】 ・アンケートの評価が上がっている項目が多く、努力されていることが感じられる。自己肯定感や満足度が高ければ、困難にも立ち向かえると思う。また、プレゼンテーション力、コミュニケーション力は大切であるので、授業公開などについても小・中・高で連携していきたい。 ・EMS(環境マネジメントシステム宣言校)としての“人づくり”や“気づき”を計画に入れてほしい。 ・携帯電話の指導で、マナーやモラルに加え、コミュニケーション力をつける観点での指導もすべきである。 ・ほとんどの項目がプラス方向に向かっていることは高く評価する。小・中・高で連携し、それぞれの発達段階を踏まえてエバーチャルデザインやアクティブラーニングの研究等、授業改善にさらに取り組むべき。 ・各評価が継続的に上昇していることはよいことだが、なぎさ高校としての目標を示す必要がある。</p>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成と思考力・判断力・表現力を高める機会の充実	<p>ア 確かな学力の育成のための授業力の向上</p> <p>イ 生涯にわたり学習する基盤の確立</p> <p>ウ 小・中・高・大の教育連携の充実</p>	<p>ア 授業力向上のための方法や情報の共有のため、公開授業・研究授業・研修に学校全体で組織的に取り組む。</p> <p>イ 自習環境の充実を行うとともに、生徒に対して適切な宿題や課題を与え、自学自習を奨励・指導する。また、各種検定試験（英語技能検定、漢字能力検定、日本語ワープロ検定等）の受験を奨励・支援する。</p> <p>ウ 枚方市の「小・中・高の一貫した英語教育」による地元小・中学校との連携、また、関西外国語大学との連携によるエリア活動等を充実する。また、他の教科での連携についても研究する。</p>	<p>ア 研究授業、公開授業の実施回数(H25 11回)</p> <p>・「㊦いろいろと工夫されている授業が多い」5ポイント増(H25 58.0)</p> <p>・「㊦楽しくてわかりやすい授業が多い」5ポイント増(H25 45.9)</p> <p>イ「㊦授業以外での学習時間は1日平均1時間以上である」5ポイント増(H25 24.6)</p> <p>・「㊦学校は授業以外でも学習する機会（講習会・検定など）を提供している」5ポイント増(H25 66.2)</p> <p>・資格取得者数50人以上(H25 38人)</p> <p>ウ参加生徒数(20名)の増加</p> <p>・連携活動等の回数・内容の充実(H25 5回)</p>	<p>ア 研究授業、公開授業の実施回数18回(㊦)</p> <p>・「㊦いろいろと工夫されている授業が多い」60.3(2.4ポイント増)(○)</p> <p>・「㊦楽しくてわかりやすい授業が多い」50.9(5ポイント増)(㊦)</p> <p>イ「㊦授業以外での学習時間は1日平均1時間以上である」26.7(2.1ポイント増)(○)</p> <p>・「㊦学校は授業以外でも学習する機会（講習会・検定など）を提供している」66.9(0.7ポイント増)(○)</p> <p>・資格取得者数165人(英検第1回2級4人、準2級6人、3級11人、第3回2級1人、準2級4人、3級12人：パソコン検定1級2人、準1級13人、2級23人、準2級36人、3級53人)(㊦)</p> <p>ウ参加生徒数</p> <p>・連携活動等の回数・内容の充実(延139人)(㊦)</p> <p>磯島小学校水泳指導(水泳部)</p> <p>渚西中学校イングリッシュコンテスト(英語選択者)</p> <p>渚西中学校図書部交流(生徒会他)</p> <p>渚西中学校美術部交流(美術部)</p> <p>山田中ふれあいタウン(吹奏楽部)</p> <p>京都大学総合博物館見学(科学同好会)</p> <p>大阪大学「SAP2014」(科学同好会)</p> <p>関西外大留学生との交流(生徒会他)</p> <p>関西外大探訪(英語文化エリア)</p>
2 夢と志を描き、自らの力でそれを実現できる生徒の育成、社会人・職業人として自立・貢献できる	<p>ア 基本的な生活習慣・マナーの確立</p> <p>イ 3年間を見通したキャリア教育の確立</p> <p>ウ 大学等進学希望者に対する早期化・強化</p> <p>エ 上級学校や外部機関との連携による、本物・最先端に触れる機会の充実</p>	<p>ア 「遅刻指導強化週間」の実施や登校時授業時などでの粘り強い指導により、遅刻や頭髪・服装、携帯電話使用における一層のモラル・マナーの向上をめざす。</p> <p>イ LC委員会等において、3年間を見通したキャリア教育プログラムを作成・実施する。</p> <p>ウ 各学年当初から進路希望別指導や進学講習等を行い、志望校の決定を早め、生徒の進路希望の実現を支援する。</p> <p>エ 大学や専門学校、企業等との連携・協力により、「本物」を体験し、「最先端」に触れる授業やエリア活動、芸術鑑賞など特別活動を充実する。</p>	<p>ア「㊦学校生活についての先生の指導は納得できる」5ポイント増(H25 58.0)</p> <p>イ3年間のプログラム完成</p> <p>・「㊦進路実現に関する指導は適切に行われている」75%以上(H25 73.7)</p> <p>ウ進路希望実現率(3年時当初進路希望と卒業時進路実績の比較)75%以上(H25, 3, 25 大学69%)</p> <p>エ“本物”を体験し、最先端“に触れる授業や活動等の実施回数の増加</p> <p>・「㊦総合的な学習の時間の学習は充実している」5ポイント増(H25 68.1)</p> <p>・「㊦エリアの学習は自分の興味・関心を満足させた」75%以上(H25 73.8)</p>	<p>ア「㊦学校生活についての先生の指導は納得できる」57.5(3.9ポイント増)(○)</p> <p>イ3年間のプログラム完成</p> <p>・「㊦進路実現に関する指導は適切に行われている」74.6%(○)</p> <p>・3学年を通した「LC・LHR計画」について、完成度が高いので府教育委員会事務局の高等学校課学校経営支援Gの研修資料として使いたいとの依頼をいただいた。(㊦)</p> <p>ウ進路希望実現率(3年時当初進路希望と卒業時進路実績の比較)【調査中】</p> <p>エ“本物”を体験し、最先端“に触れる授業や活動等の実施回数の増加</p> <p>・「㊦総合的な学習の時間の学習は充実している」69.1(1.0ポイント増)(○)</p> <p>・「㊦エリアの学習は自分の興味・関心を満足させた」70.4(3.4ポイント減)(△)</p> <p>・「㊦次の力が十分身に付きましたか」について、7つの能力の内、「専門的な知識」「自分を表現する力」「プレゼンテーション能力」「相手とコミュニケーションする力」の4項目に「①よくあてはまる」と答えた生徒は、過去6年間で最高であった。</p>
3 安全で安心、そして自他を大切にす意識の醸成	<p>ア 地域との連携の強化と校内環境の整備</p> <p>イ 自他を大切にす意識の醸成</p> <p>ウ 特別支援教育の充実</p>	<p>ア 地元小・中学校や地域コミュニティー協議会との連携の強化・充実を行う。また、交通ルール・マナー指導に取り組む。さらに、安全点検等を踏まえた校内環境の整備や災害時対応の飲料水等の備蓄を行い、併せて防災意識の向上を図る。</p> <p>イ 進路保証を重点とした取り組みに加え、インターネットや携帯電話等にも対応した人権教育を実施するとともに、アンケート等により把握したいじめなどの事象などには迅速かつ的確な対応をおこなう。</p> <p>ウ 自立支援コースの教育体制を整備するとともに、「共に学び共に育つ」教育活動を推進する。また、支援教育サポート校としての取組をさらに充実させる。</p>	<p>ア地域活動参加回数の増加(H25 8回)</p> <p>・「㊦学校の施設・設備は充実している」5ポイント増(H25 62.7)</p> <p>イ「㊦学校では命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い」60%以上(H25 59.7)</p> <p>ウ「㊦この学校の生徒たちの関係はとてもよい」80%以上(H25 77.7)</p>	<p>ア地域活動参加回数の増加(計11回)(㊦)</p> <p>枚方ふれあいフェスティバル(自立支援コース、交流委員会、園芸部、コーラス部)、コーラスメッセ2014(コーラス部)</p> <p>ひらかたキャンドルの夕べ(美術部)、御殿山フェスタ(漫画・アニメ部)、磯島地区コミュニティー運動会(放送部)</p> <p>教文子どもサイエンスフェア(科学同好会)、サイエンスフェスタ(青少年のための科学の祭典2014 大阪大会)(科学同好会)、大阪府立水生生物センター見学(科学同好会)、虹まつり(吹奏楽部)、御殿山生涯学習美術センターワークショップ(美術部)、山田池チャリティー(東北震災支援)マラソン(有志)</p> <p>・「㊦学校の施設・設備は充実している」(△)56.7(6ポイント減)</p> <p>イ「㊦学校では命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い」59.1(0.5ポイント減)(△)</p> <p>ウ「㊦この学校の生徒たちの関係はとてもよい」76.5(1.1ポイント減)(△)</p>